

## 神地本広報センターイベント「戦車体験試乗ツアー」 ～体感せよ！この振動！！～



74式戦車体験試乗



74式戦車の運転席で記念撮影する参加者

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 1等海佐 山野太資）は、11月23日（祝・木）、広報センターイベントとして「戦車体験試乗ツアー」を実施し、ホームページや神奈川地本1Fにある「広報センター」、防衛省のツイッターなどを通じて応募した149名の中から、抽選で選ばれた中学生から会社員などの20名が参加した。

当日は、あいにくの雨模様であったが、マイクロバスで神奈川地本広報センターから東富士演習場へ向かい、第1戦車大隊と駒門駐屯地広報の支援を受け、74式戦車体験試乗及び10式戦車見学が実施された。

搭乗者は、ライナー、手袋、OD色の雨衣を身に着け、戦車に乗り込み「しっかり、手すりにつかまって下さいね。結構ゆれまから」と隊員から声をかけられると、目を輝かせ、これから始まる試乗への期待と興奮が最高潮に高まっている様子だった。試乗を終えると「思っていたよりも、早く動いて、ものすごく揺れて、楽しかった」と感想を述べていた。

その後、74式戦車の姿勢変換や10式戦車を見学し、74式戦車の運転席などに乗り込んで、隊員から丁寧な説明を受けるなど、戦車の魅力を十分満喫したようであった。生徒は「自衛官になって、戦車乗りになりたい」と熱く語るなど、大きな広報効果をもたらしたようであった。

イベント終了後のアンケートでは「貴重な体験が出来た。とても楽しかった」「自衛官の人がとても親切で感激した。大変有意義な一日でした」などの感想が寄せられ、大盛況のうちに本イベントは終了した。

神奈川地本は「イベントを定期的に開催することで、広報センターの周知を図るとともに、楽しく自衛隊を学ぶことで、自衛隊に興味を持ってもらい、募集業務、防衛基盤の拡充につなげていきたい」としている。

## 武山駐屯地において「即応予備自衛官雇用企業主等訓練研修」を実施



即自衛生小隊の気道挿管訓練を見学する雇用企業主ら

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 1等海佐 山野太資）は、11月23日（木）、武山駐屯地において「即応予備自衛官雇用企業主等訓練研修」を実施した。本研修は、即自を雇用する企業主等に対し、即自制度と自衛隊に対する理解を深めるために実施しており、今回は現在即自を雇用している企業をはじめ、今後即自の雇用を検討している企業のほか、即自を志願する元自衛官など計5社11名が参加した。

当日は、あいにくの天候であったが、第31普通科連隊本部管理中隊において、説明を受けながら、即自隊員の訓練の様子を見学し、隊員食堂では、即自隊員らとともに食事を体験した。

午後は、海上自衛隊横須賀教育隊の史料館を見学し、予備自衛官補の教育訓練などを研修した。

参加した企業主は「訓練の大変さと重要性を再認識した」「企業として協力できる体制を考えたい」と話し、志願者は「不安を払拭することができた。来年からお世話になります」「充実した訓練研修になった」などと感想を述べていた。

神奈川地本は「今後もあらゆる機会を活用して雇用企業主等への即応予備自衛官制度及び自衛隊に対する理解促進を図り、即応予備自衛官の勢力確保の資とする」とともに、訓練への出頭環境の向上に繋げていきたい」としている。